

平成26年度ごみ処理実績

ごみの総排出量は前年度比 489 トン減量

昨年度のごみ排出量は、家庭ごみと事業系ごみの双方で、前年度より減らすことができました。限りある資源を有効に活用し、資源を循環させる社会を実現させるためには、ごみの分別は欠かせません。引き続き分別収集へのご協力をお願いします。

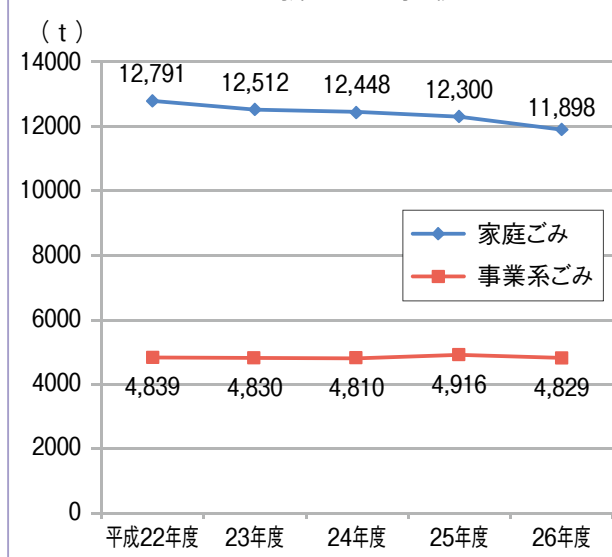
生活環境課

☎995-1816

美化センター

☎992-3210

ごみの排出量の推移

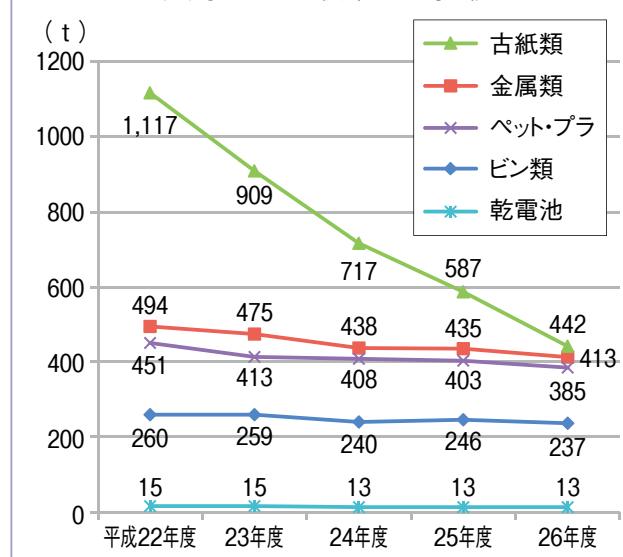


家庭から出るごみは前年度比 402 トン減量

昨年度の家庭ごみと事業系ごみを合わせた総排出量は 16,727 トンで、前年度より 2.8% 減りました。このうち家庭のごみは全体の 71% に当たる 11,898 トンで、前年度に比べ 402 トン減りました。事業所などのごみは、全体の 29% の 4,829 トンで、前年度に比べ 87 トン減りました。

家庭から出る可燃ごみは 10,197 トンで、前年度に比べ 259 トン減りました。事業所などから出る可燃ごみは 4,762 トンで、前年度に比べ 67 トン減りました。可燃ごみの減少に併せて、焼却量や埋立量も減っています。

資源ごみの収集量の推移



ごみの総排出量に対する資源化率は 9.2%

平成 26 年度のごみ資源化量は、新聞紙 232 トン、雑誌 124 トン、ダンボール 83 トン、牛乳パック 3 トンの総計 442 トンでした。金属類は 413 トンでした。また、プラスチック製容器包装は 314 トン、ペットボトルは 71 トンで総計 385 トン、びん類は 237 トン、乾電池は 13 トンでした。平成 26 年度から回収を始めた衣類などは 47 トン、今年の 2 月から回収を始めたパソコンや携帯電話などの小型家電では 3 トンを資源化しました。資源化総量は 1,540 トンで、前年度より 144 トン減り、総排出量に占める資源化量の割合を示した資源化率は、9.2% となりました。

これは便利! ごみの目確認・分別アプリ『裾野市版 5374 (ゴミナシ)』 アドレスにアクセスするだけで利用可能!



市内の地区ごとのごみ収集日とごみの種類を簡易的に確認できる WEB サービス『裾野市版 5374 (ゴミナシ)』の運用を開始しました。元となるプログラムの「5374.jp」は「Code for kanazawa」というグループによって開発された公開プログラムで、誰でも無料で利用、改変、再配布できます。市ではこのプログラムを改変した後、利用するデータを作成しサービスとして提供します。

<http://www.city.susono.shizuoka.jp/5374/> ※「裾野市版 5374」でも検索可能

